

**【表紙】**

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2015年2月27日
【会社名】	そーせいグループ株式会社
【英訳名】	Sosei Group Corporation
【代表者の役職氏名】	代表執行役社長CEO 田村 眞一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区麹町2丁目4番地
【電話番号】	03(5210)3290(代)
【事務連絡者氏名】	執行役副社長CFO 虎見 英俊
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区麹町2丁目4番地
【電話番号】	03(5210)3290(代)
【事務連絡者氏名】	執行役副社長CFO 虎見 英俊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

2015年2月23日に提出した臨時報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

2【報告内容】

子会社の取得（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告）

(1) 取得対象子会社の概要

(訂正前)

(1) 名称	Heptares Therapeutics Ltd.		
(2) 本店の所在地	BioPark, Broadwater Road, Welwyn Garden City, Hertfordshire, AL7 3AX, UK		
(3) 代表者の氏名	取締役 CEO、マルコム・ウェイア		
(4) 事業の内容	GPCRの構造解析や初期のリード化合物の創出、独自開発のStaR <sup>®</sup> 技術による候補品探索		
(5) 資本金の額	38百万円		
(6) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
(7) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益			
決算期	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期
純資産の額	907百万円	1,674百万円	1,474百万円
総資産の額	1,555百万円	1,824百万円	1,490百万円
売上高	1,005百万円	1,743百万円	895百万円
営業利益（損失）	2,289百万円	1,046百万円	2,101百万円
経常利益（損失）	1,255百万円	1,036百万円	2,092百万円
当期純利益（損失）	949百万円	756百万円	1,728百万円

(注) 1ポンドにつき、180円にて換算した金額です。

(訂正後)

(1) 名称	Heptares Therapeutics Ltd.		
(2) 本店の所在地	BioPark, Broadwater Road, Welwyn Garden City, Hertfordshire, AL7 3AX, UK		
(3) 代表者の氏名	取締役 CEO、マルコム・ウェイア		
(4) 事業の内容	GPCRの構造解析や初期のリード化合物の創出、独自開発のStaR <sup>®</sup> 技術による候補品探索		
(5) 資本金の額	38百万円		
(6) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
(7) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益			
決算期	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期
純資産の額	907百万円	1,674百万円	1,474百万円
総資産の額	1,555百万円	1,824百万円	1,490百万円
売上高	1,005百万円	1,743百万円	895百万円
営業利益(損失)	2,289百万円	1,046百万円	2,101百万円
経常利益(損失)	1,255百万円	1,036百万円	2,092百万円
当期純利益(損失)	949百万円	756百万円	1,728百万円

(注) 1ポンドにつき、180円にて換算した金額です。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

(訂正前)

ヘプタレス社は、英国のMRC Laboratory of Molecular BiologyおよびNational Institute of Medicinal Researchの研究成果を事業化するべく、2007年に設立され、医薬品ターゲットとして期待の大きい、Gタンパク質共役受容体(GPCR)に作用する医薬品候補を創出するための世界で最も進んだ独自の技術(StaR<sup>®</sup>)を有するバイオ企業です。

(訂正後)

ヘプタレス社は、英国のMRC Laboratory of Molecular BiologyおよびNational Institute of Medical Researchの研究成果を事業化するべく、2007年に設立され、医薬品ターゲットとして期待の大きい、Gタンパク質共役受容体(GPCR)に作用する医薬品候補を創出するための世界で最も進んだ独自の技術(StaR<sup>®</sup>)を有するバイオ企業です。